

登録コード	L1740500	開講年度	2026				
担当教員	塩原 佳典			副担当			
授業科目	日本史発展演習						
英文授業名	Japanese History: Advanced Seminar						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	金曜・4時限
講義室	人文201 演習室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前加付対象】情報を適切に集約・分析・表現できる高度なメディアリテラシー			日本近現代史の多彩な史料から論点を見出し、調査・分析した成果をまとめられるようになる。			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】			日本近現代史の多彩な史料から論点を見出し、調査・分析した成果をまとめられるようになる。			
授業で学べる「テーマ」	地域運営						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	卒業論文の執筆を意識しつつ、各自の問題関心や研究テーマを明確化し深めるため、文献講読や研究の発表を順番で繰り返していく。その前提として、自分のテーマに関連する史料や文献を蒐集する作法についても学ぶ。						
授業計画	授業計画 第1週 ガイダンス（授業の進め方、発表の順番など） 第2週 レジューメ作成の作法 第3週 文献の検索、史料の蒐集 第4週 各自の研究テーマに関わる報告（グループ） 第5週 各自の研究テーマに関わる報告（グループ） 第6週 各自の研究テーマに関わる報告（グループ） 第7週 研究論文講読（基礎） 民衆史 第8週 研究論文講読（基礎） 社会史 第9週 研究論文講読（基礎） 教育史 第10週 各自の研究テーマに関わる報告（グループ） 第11週 各自の研究テーマに関わる報告（グループ） 第12週 各自の研究テーマに関わる報告（グループ） 第13週 研究論文講読（基礎） 政治史 第14週 研究論文講読（基礎） 女性史・ジェンダー史 第15週 研究論文講読（基礎） 植民地史 授業アンケートを実施する						
成績評価の方法	報告内容と討論への参加状況によって評価する。無断欠席は認めない。						
成績評価の基準	「史料から論点を見出し、蒐集した関連史料をもとに発展的な報告内容としてまとめ、討論にも積極的に参加している」（卓越している）、「史料から論点を見出し、蒐集した関連史料をもとに報告をまとめ、討論にも参加している」（かなり上にある）、「蒐集した史料をもとに報告をまとめ、討論にも参加している」（やや上にある）、「報告内容をまとめ、討論にも参加している」（合格水準にある）。						
事前事後学習の内容	初回に発表順の分担を決定する。報告にあたっては、参考文献を複数冊読み込み、レジューメ作成にあたること。 卒業論文のテーマを意識しながら、史料や文献を読む勉強に取り組んでください。						
履修上の注意	無断欠席は認めません。毎回、史料や文献の予習をして臨んで下さい。						
質問、相談への対応	オフィスアワーなどを利用し対応します。面談を希望される場合は、事前にアポイントをとってください。オフィスアワーは金曜3限に設定しています。						
教科書	各自の問題関心や議論の内容をふまえ、適宜紹介します。						
参考書	松沢裕作・高嶋修一編著『日本近・現代史研究入門』岩波書店、2023年						